

## 庄原市住生活基本計画（案）に対するパブリックコメント（市民意見募集）の結果について

### 1. 実施期間と結果

- (1) 募集期間 令和8年3月10日（火）から令和8年3月23日（月）まで
- (2) 提出者 3人
- (3) 意見件数 5件
- (4) 提出方法 電子メール（1人）、直接正面（2人）

### 2. 提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

No	意見等の概要	市の考え方
1	① 高齢者は交通の便の良い場所へ移転してほしい。	① 関連計画である立地適正化計画で定めた居住誘導区域への居住誘導等によるコンパクトな都市づくりを推進してまいります。
2	① 庄原市独自のアイデアで他市、他県の人を呼び込む為に模索してほしい。	① 現在は、空き家バンクの活用や移住者向けの住宅取得費、改修費等の補助制度による移住・定住施策を推進しております。 移住者・定住者向けの情報発信や生活体験の受け入れ支援など、総合的な支援体制づくりを進めてまいります。
3	人口減少や高齢化の進行、高齢者のみの世帯の増加、子育て世帯の減少などの課題が整理され、高齢者・障がい者が安心して暮らせる住まいづくり、子育て世帯が暮らしやすい住まいづくり、定住の促進などの施策が示されていることは大変重要であると考えます。 庄原市は豊かな自然環境や地域コミュニティに恵まれた地域であり、その特性を活かした住まいづくりを進めることで、移住・定住の促進や地域活性化につながる可能性があると考えます。 その観点から、次のような取組の検討を提案します。	

<p>3</p>	<p>① 教育環境を活かした「教育移住」に対応する住宅の整備です。庄原市には自然環境を活かした教育を実践している学校もあり、都市部からの教育移住の受け皿となる住宅を整備することで、子育て世帯の移住促進につながる可能性があります。</p> <p>② 高齢者や子育て世帯が共に暮らす「多世代共生型住宅」の整備です。地域では要介護1～2程度で自宅生活が難しくなりつつある高齢者も多く、特別養護老人ホームへの入所が難しいケースも見られます。小規模な高齢者住宅を整備し、介護サービス等と連携することで、地域で安心して暮らし続けられる住まいの選択肢を増やすことができると考えます。</p> <p>③ 住宅だけでなく地域交流や子どもの遊びや学習などにも活用できる公園・共有スペースを備えたコミュニティ型住宅の検討です。高齢者と子ども、地域住民が日常的に交流できる環境は、孤立防止や地域コミュニティの活性化にもつながると考えます。また、庄原市の豊かな森林資源を活かし、地域産材を活用した木造住宅の整備を進めることは、地域産業の振興や庄原らしい住環境の形成にも寄与するものと考えます。</p> <p>庄原市の自然環境、教育環境、地域コミュニティの強みを活かし、子どもから高齢者まで多世代が安心して暮らせる新しい住まいのモデルを検討していただくこと、そして小規模な多世代コミュニティ住宅のような新しい住まいのモデルが庄原市で生まれることを期待します。</p>	<p>① 移住者の住宅取得等の支援により、定住者に対する住宅確保を支援してまいります。また、定住者向けの民間賃貸住宅の供給促進と居住の支援を進めてまいります。</p> <p>② 介護保険制度等による住宅改修や住宅リフォーム費用の補助制度を活用し、自宅生活の暮らしやすい住宅ストックの形成を図ります。また、介護に係る関係機関と連携した地域包括システムを充実してまいります。</p> <p>③ 市民、地域住民団体等の主体的な住まいづくり、まちづくりの取組の支援や地域住民団体等の活動、交流の拠点となる場の確保に努めます。</p> <p>また、地域産材を使用した住宅の新築・改修に係る補助制度の周知、活用により、地域産業の振興に寄与したいと考えております。</p>
----------	---	---